

プレス発表

平成16年2月20日
経済産業省

JIS漢字コード表の改正について －168字の例示字形を変更－

<ポイント>

1. 経済産業省は2月20日付けで、漢字コードに関するJIS^①を改正し、規格票に示している例示字形^②のうち168字を変更した。(例:「葛」→「葛」)
2. 今回の改正は、JISの例示字形を、国語審議会で答申された表外漢字字体表^③の印刷標準字体に改め^④、JISを国語施策と整合させるもの。
3. JISは、漢字に対する符号(コード)を定める規格であり、字形は規定していない。このため、JISにおいては、今回の改正によって変更された字形と変更前の字形は、どちらも同じものとして取り扱っている。したがって今回の改正が、パソコンなどに搭載される字形の変更を求めるものではない。
4. しかしながら、一般にパソコンなどに搭載される字形については、JISの例示字形を基に作られることが多い。したがって、今回の改正によってパソコンなどに搭載される字形が、徐々に印刷標準字体に変更されることが期待される。
5. なお、表外漢字字体表の(1,022字)の一部については、技術的な制約^⑤から、新しい漢字として追加を行った。(例:「剥」(既存文字)と「剥」(追加文字))

(以下の注は、本文中の小数字①～⑤に対応)

注① 正式名称は「JIS X0213 7ビット及び8ビットの2バイト情報交換用符号化拡張漢字集合」である。「常用漢字」(1,945字)、「法務省人名用漢字」(285字)を含む10,040字の漢字を規定している。

注② JISの規格票に示されている字の形。ただし、「例示」としているように、点の向きなど細かな違いはJISでは許容している。具体的には、筆の払いの有無、点の向き、筆の押さえの有無などの違いのある字形がパソコンなどに搭載されている場合がある。

注③ 「常用漢字」以外の漢字を「表外漢字」という。表外漢字のうち、使用頻度の高い1,022字については、「印刷標準字体」として印刷の際の標準的な字体が定められている(平成12年12月国語審議会答申)。

注④ JISは実用上の必要性から、従前から「常用漢字」以外の漢字(「表外漢字字体表」の1,022字を含む)についても規定し、例示字形を示していた。国語審議会答申(上記)においてJISと異なる字形が定められたことから、今回、異なっている字形についてこれを改めることとした。

注⑤ 漢字は、国際標準であるISOにおいても規格化されている。ISOの規格では、今回新規に追加した文字(例:「剥」)と既存の文字(例:「剥」)を別の字として扱っている。したがってISOの規定に合わせるため、10字について追加の規定を行った。

参考

1. 改正までの経緯

- 平成12年 1月 JIS X0213を制定
平成12年12月 国語審議会による「表外漢字字体表」が答申（印刷用の標準となるべき字体（印刷標準字体）が示される）
平成13年 5月 J I S 改正案の作成を開始
この間、2回の公開レビューを行った
平成15年10月 日本工業標準調査会標準部会情報技術専門委員会による審議
平成16年 2月 JIS X02013を改正

2. 文字コードについて

文字コードは一つの文字に対し、一つのコードを付与するもの。コードを指定すれば文字が一つに決定される。「経済」を例にとると、それぞれ文字に次のようなコードが付与されている。

文字	コード（シフト J I S による表現）※
経	8C6F
済	8DCF

※コード表現には幾つかの種類があるが、このコードはシフト J I S による表現である（J I S には他に3通りのコード化方法がある）。

3. 国語審議会答申と J I S との関係

この答申中「4.（2）情報機器との関係」には、

「今後、情報機器の一層の普及が予想される中で、その情報機器に搭載される表外漢字の字体については、表外漢字字体表の趣旨が生かされることが望ましい。このことは、国内の文字コードや国際的な文字コードの問題と直接かかわっており、将来的に文字コードの見直しがある場合、表外漢字字体表の趣旨が生かされる形での改訂が望まれる。改訂に当たっては、関係各機関の十分な連携と各方面への適切な配慮の下に検討される必要がある。」

と記述されている。文中の「文字コード」は、J I S（国際規格の場合は I S O）を指すものであり、今回の改正はこの答申を反映させるもの。

4. 印刷標準字体と J I S の例示字形との関係

国語審議会が答申した1,022字と J I S の例示字形とを比較検討した結果、178字について例示字形の変更などの対処が必要と判断された。うち、168字は例示字形の変更によって対処した。

5. 国際規格との関係

対処が必要なもののうち、残りの10字（178字から168字を引いたもの）については、次の理由から新たに J I S に追加した。

- ①国際規格においても、J I S と同じように漢字の符号化を定めた規格（ISO/IEC 10646）がある。この国際規格では、日本、中国、韓国などで使用される漢字（約7万字）を規定している。
- ②国際規格において、今回の改正で追加した文字（10字）については、J I S で規定した文字と異なる文字として規定されている。このため、J I S においても別の文字として取り扱うこととし、10字を新たに追加することとした。

6. 情報機器への J I S 改正の影響について

J I S の改正が、すぐに情報機器の仕様の変更につながるものではない。一般に情報機器の世代交代の時期などの機会に徐々に変更されていく。この J I S の改正を通じ、国語審議会の答申趣旨がより広く普及することを期待している。

お問い合わせ先
産業技術環境局 標準課
担当者：坂井・堀坂
電話：03-3501-1511(内線3428)
03-3501-9287(直通)

附表

1. 今回の改正で、例示字形の変更を行った168字は次のとおり。

面区点 位置	改正後 字形	改正前 字形									
1-16-9	逢	逢	1-19-2	晦	晦	1-22-91	櫛	櫛	1-26-71	榭	榭
1-16-18	芦	芦	1-19-10	蟹	蟹	1-22-93	屑	屑	1-27-7	薩	薩
1-16-27	飴	飴	1-19-75	葛	葛	1-23-9	粿	粿	1-27-10	鯖	鯖
1-16-78	溢	溢	1-19-83	鞆	鞆	1-23-23	祁	祁	1-27-12	鯖	鯖
1-16-81	茨	茨	1-19-88	釜	釜	1-23-68	隙	隙	1-27-13	鮫	鮫
1-16-83	鯛	鯛	1-20-45	翰	翰	1-23-81	倦	倦	1-27-33	餐	餐
1-16-92	淫	淫	1-20-69	翫	翫	1-23-94	捲	捲	1-28-61	杓	杓
1-17-10	迂	迂	1-21-11	徽	徽	1-24-3	牽	牽	1-28-62	灼	灼
1-17-25	厩	厩	1-21-32	祇	祇	1-24-16	鍵	鍵	1-29-22	酋	酋
1-17-29	樽	樽	1-21-66	汲	汲	1-24-33	諺	諺	1-29-61	楯	楯
1-17-34	餌	餌	1-21-68	灸	灸	1-25-11	巷	巷	1-29-82	薯	薯
1-18-8	襖	襖	1-21-72	笈	笈	1-25-28	梗	梗	1-29-83	薯	薯
1-18-64	迦	迦	1-22-10	卿	卿	1-25-49	膏	膏	1-30-5	哨	哨
1-18-71	牙	牙	1-22-34	饗	饗	1-25-84	鵠	鵠	1-30-68	鞘	鞘
1-18-86	廻	廻	1-22-47	僅	僅	1-25-89	甌	甌	1-30-83	杖	杖
1-18-90	恢	恢	1-22-84	喰	喰	1-26-21	叉	叉	1-31-10	蝕	蝕

(次ページに続く)

面区点 位置	改正後 字形	改正前 字形
1-31-54	訊	訊
1-31-64	逗	逗
1-32-2	摺	摺
1-32-81	撰	撰
1-32-89	煎	煎
1-32-90	煽	煽
1-32-92	穿	穿
1-32-93	箭	箭
1-33-7	詮	詮
1-33-25	噌	噌
1-33-44	遡	遡
1-34-23	揃	揃
1-34-29	遜	遜
1-34-60	腿	腿
1-34-93	蛸	蛸
1-35-9	辿	辿
1-35-14	樽	樽
1-35-23	歎	歎
1-35-80	註	註
1-35-85	瀦	瀦
1-36-29	抄	抄
1-36-40	槌	槌
1-36-42	鎚	鎚
1-36-52	辻	辻
1-36-82	挺	挺
1-37-2	鄭	鄭

面区点 位置	改正後 字形	改正前 字形
1-37-7	擢	擢
1-37-14	溺	溺
1-37-38	兎	兎
1-37-40	堵	堵
1-37-43	屠	屠
1-37-50	賭	賭
1-38-52	澇	澇
1-38-59	遁	遁
1-38-70	謎	謎
1-38-71	灘	灘
1-38-74	檣	檣
1-39-9	禰	禰
1-39-55	牌	牌
1-39-71	這	這
1-39-73	秤	秤
1-39-93	駁	駁
1-40-4	箸	箸
1-40-32	叛	叛
1-40-52	挽	挽
1-40-80	誹	誹
1-40-85	樋	樋
1-41-3	稗	稗
1-41-15	逼	逼
1-41-21	謬	謬
1-41-31	豹	豹
1-41-32	廟	廟

面区点 位置	改正後 字形	改正前 字形
1-41-46	瀕	瀕
1-41-64	斧	斧
1-42-35	蔽	蔽
1-42-45	瞥	瞥
1-42-46	蔑	蔑
1-42-51	篇	篇
1-42-58	婉	婉
1-42-60	鞭	鞭
1-42-89	庖	庖
1-43-9	蓬	蓬
1-43-80	鱒	鱒
1-43-88	迄	迄
1-44-57	儲	儲
1-44-63	餅	餅
1-44-66	粿	粿
1-44-76	爺	爺
1-44-90	鎚	鎚
1-44-92	愈	愈
1-45-18	猷	猷
1-46-90	漣	漣
1-46-91	煉	煉
1-46-92	簾	簾
1-47-17	榔	榔
1-47-64	屢	屢
1-49-45	兔	兔
1-50-55	叟	叟

面区点 位置	改正後 字形	改正前 字形
1-50-91	咬	咬
1-51-62	嘲	嘲
1-51-83	囀	囀
1-55-49	徘	徘
1-57-8	扁	扁
1-59-89	棘	棘
1-60-84	橙	橙
1-64-36	狡	狡
1-65-17	甕	甕
1-65-20	甦	甦
1-65-54	疼	疼
1-67-14	崇	崇
1-67-62	竈	竈
1-68-7	筵	筵
1-68-32	箐	箐
1-71-7	腓	腓
1-71-59	艘	艘
1-71-74	芒	芒
1-73-42	虔	虔
1-73-71	蜃	蜃
1-74-4	蠅	蠅
1-75-35	訝	訝
1-80-43	靄	靄
1-80-55	靱	靱
1-81-57	騙	騙
1-82-77	鴉	鴉

2. 今回の改正で、追加した10字は次のとおり。

(上段は今回JISに追加した文字、下段がJISとしては既に別のコードを規定している文字)

面区点 位置 字形				
1-14-1 俱	1-47-52 叱	1-84-7 嘘	1-94-91 屏	1-94-93 瘦
1-22-70 俱	1-28-24 叱	1-17-19 嘘	1-54-2 屏	1-33-73 瘦
面区点 位置 字形				
1-15-94 剥	1-47-94 吞	1-94-90 妍	1-94-92 并	1-94-94 繫
1-39-77 剥	1-38-61 吞	1-53-11 妍	1-54-85 并	1-23-50 繫